

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	男 30代	社交不安 障害	1 mg 603日間 ↓ 2 mgに増量 556日間 ↓ 中止 ↓ 2 mg 中止約3日 後から投与 再開、投与 期間不明	<p>けいれん発作</p> <p>投与7ヵ月前頃から朝吐き気あり。口の中の皮がむけてくる。1日中頭痛、熱感あり。やる気が出ず、体がだるく、イライラする。不安。考えがまとまらない。憂鬱、もの悲しい、気が沈む。朝食前は吐き気がひどく、ここ最近では朝食をとってない。夜は食欲がある。休日の朝は吐き気はない。</p> <p>投与開始日 当院初診。社交不安障害の診断で、本剤、スルピリド (50mg/日)、ジアスターゼ配合剤1カプセル/日を投与開始。</p> <p>投与15日目 本剤服用時は「かなり楽である」とのこと。</p> <p>投与34日目 本剤服用時は「だいぶ楽である」とのことで、本剤をその後561日(投与594日目)迄連続投与。</p> <p>投与604日目 「調子悪い、仕事中は誰とも話したくなくなる」「食事も急に食べたくなくなる」と訴えたため、本剤(1mg)、スルピリド(50mg/日)、ジアスターゼ配合剤1カプセル/日に、本剤(0.5mg×2錠/日)を追加。</p> <p>投与622日目 来院。本剤服用時は「だいぶ楽である」とのことで、本剤(1mg)、スルピリド(50mg)1錠、ジアスターゼ配合剤1カプセル/日に、本剤(0.5mg×2錠/日)を投与1159日目まで投与。その後は本剤が切れていたため服用せず。</p> <p>投与1162日目 定期的受診にて、外来待合室にて大発作を起こした。イスに座った状態で奇声を発し、イスから立ち上がった後に意識を失い、側の机に頭をぶつけたまま倒れ、3分間ほどけいれんし、手足をバタつかせた。その後何回も深呼吸をくり返しながらもうろう状態となり、立ち上がろうとしたりした。10分位その状態が続いたためベッドへ寝かせた。その後、咳きこみながらも意識もうろうとしてウロウロ歩こうとしたため、ベッドへ戻らせる。吐気、嘔吐が数回あったが、朝何も食べてなかったらしく吐いたのは粘液だけであった。約1時間で正気にもどったが、ボーッとほするが、頭痛は軽いとのこと。強直間代発作であった。昨夜は吐き気がおさまらなくて救急で近医へ行き吐き気止めをもらってきたとのこと。過去にてんかん発作を起したという既往歴はない。けいれんから覚めたため同じ処方再開。本剤(1mg)1錠、スルピリド(50mg)1錠、ジアスターゼ配合剤1カプセル/日に、本剤(0.5mg×2錠/日)を投与。</p> <p>投与1163日目 脳波検査やMRIをするため近医を紹介したが、検査未施行で帰宅。けいれん発作回復。</p>
<p>臨床検査値</p> <p>臨床検査値はありません。</p>				
<p>併用被疑薬：スルピリド 併用薬：ジアスターゼ配合剤</p>				